一般部門 2

くしろ元町の歴史と自然を活かしたフットパス活動

くしろ元町青年団　北海道 釧路市

1 社会資本の概要

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置しており、「釧路湿原」「阿寒摩周」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた街であり、地域の社会・経済の中心都市です。

くしろ元町青年団が活動の舞台としている「くしろ元町」とは、釧路市内を流れる釧路川より南の高台に位置する米町とその周辺の総称であり、古くは江戸時代に、アイヌ民族と和人が交易を行った「クスリ（釧路）場所」が設置されるなど、釧路発祥の地で歴史があり、美しい景観と豊かな情緒が溢れる街です。

そんな情緒溢れる街において、道道や市道などを活用して、くしろ元町を盛り上げる活動として、「くしろ元町フットパス」などの活動を行っています。

くしろ元町地区

寺町通り

南大通（道道25号線）

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

くしろ元町は、美しい景観と豊かな情緒が溢れる街ですが、平成18年からの10年間で、20~30代の若者・子育て世代が約50%減少しており、このままでは元町から誰もいなくなってしまうと危機感を持ちました。そこで、「若者・子育て世代も元町に来て、みんなが過ごしたくなるマチづくり」をテーマに、様々な活動を行っています。

歴史や景観の魅力を歩きながら感じてもらう「くしろ元町フットパス」、健康づくりと夜間の防犯活動を兼ねた「元町ゆるゆるラン&ウォーク」などの活動とともに、令和元年に廃止された石炭列車廃線跡地の活用に向けた取組である「つなぐ道プロジェクト」では、地域の名所であった踏切跡を、寄付を募ることにより再現する取組も行いました。

石炭列車の廃線跡を歩く
フットパス

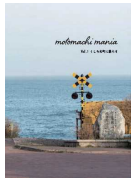
元町ゆるゆるラン&ウォーク

再現された弁天ヶ浜の踏切

3 活動の成果や波及効果等

くしろ元町青年団では、元町をもっと知ってもらうために、元町情報誌である「元町マニア」や「元町フットパスマップ」を作成しました。また、石炭列車廃線跡地の遊歩道化実現への願いを込め作成したテーマソング「つなぐ道」は、地元小学校の授業の一環として歌われています。

さらに、定期的に「くしろ元町講座」を開催しており、釧路公立大学の教授や学生に地域の活性化策を提案してもらうなど、地域を巻き込んだ活動を展開しています。



元町情報誌「元町マニア」

元町講座

「つなぐ道」ミュージックビデオの一場面

「つなぐ道」完成お披露目ステージ
（地元小学生とともに）

喜びの声

受賞者
くしろ元町青年団
団長
菊池 吉史

コメント

日本随一の涼しい街・釧路市。その中でも釧路発祥の元町エリアは、海沿いに神社仏閣が立ち並ぶ美しい景観と、豊かな情緒溢れる自慢の地域です。

今回、手づくり郷土賞をいただけたことを励みに、石炭列車跡地の遊歩道化の実現などの夢を追い続け、若さをチカラに変えて故郷のまちづくりに邁進します。

活動の内容

- 情報発信（元町マップ・元町マニアの発行、元町講座、出前授業、YouTubeチャンネルなど）
- コミュニティづくり（くしろ元町フットパス、元町ゆるゆるラン&ウォーク、元町おてら食堂、元町女子会など）
- つなぐ道プロジェクト（石炭列車跡地の有効活用）

活動の経歴

平成27年　くしろ元町青年団設立
　　元町フットパスマップ作成
令和 2年　弁天ヶ浜踏切の再現
令和 3年　元町情報誌の発行
令和 5年　手づくり郷土賞（一般部門）受賞

所在地	北海道釧路市
活動主体及び連絡先	くしろ元町青年団 TEL:090-1763-4485
対象となる社会資本	北海道道25号釧路港線、 釧路市道弥生宮本通・米町本通　他

手づくり郷土賞について　受賞記念発表会　講評　大賞部門　一般部門　資料編